

平成 23 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 第 3 回幹事会要旨

日 時：平成 24 年 3 月 23 日（金曜日）午前 10 時から午前 12 時まで

場 所：高知共済会館 4 階会議室（高知市本町 5 丁目 3 - 2 0）

出席者：別紙名簿のとおり（3 名欠席）

1 県民会議について

県民会議の会員数について報告（H24.3.23 現在、251 団体、前年度比 5 団体増）

2 県民部会について

(1) 部会・ワーキングの開催状況について

平成 23 年度県民部会年間スケジュール表のとおり

(2) 部会の開催状況について

3 月 9 日に第 4 回県民部会を開催した。

平成 23 年度事業報告と、平成 24 年度事業計画の提案があり、承認された。

(3) グリーンコンシューマーワーキングの開催状況について

ワーキングを計 14 回開催した。高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用して、住宅や施設の温熱環境調査、サーモカメラによる熱感知体験の実施、リーフレット作成を行った。3 月 20 日にこうちエコハウスで「住まいの省エネ講座」も開催した。

また、高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用して、小学生のための温暖化防止啓発用オリジナル紙芝居の作成を行った。

(4) 木づかいワーキングの開催状況について

12 月 5 日に第 5 回ワーキングを開催した。

高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用して作成した積み木を使ったイベントを 5 回開催した。

(4) レジ袋削減ワーキングの開催状況について

2 月 27 日に第 3 回ワーキングを開催した。

「男も（女も）もつぞ！マイバッグキャンペーン 2011」の実績報告、成績優秀者、事業協力者を部会長表彰することを決定した。また成績優秀者を会長表彰候補者として幹事会に提出することを決定した。

(5) コツコツ削減プロジェクトワーキングについて

ワーキングを計 4 回開催した。

9~12 月の期間中、応募のあった一般家庭 373 世帯、事業所 49 社、学校 29 校で省エネへの取組を行っていただき、目標の 100t を大きく上回る 200t の CO<sub>2</sub>削減を実現できた。

今後は、高知コツコツ削減コンソーシアムのみで、うち 100t 分について、1t 当たり 1,000 円の寄付を呼び掛け、全額を宮城県農業高校に寄付する予定。

(6) ですかでゴーワーキングについて

ワーキングを計 4 回開催した。

ですかカードの貸出状況については、2 月 29 日現在で、前年度比 19%増の

1,788名に貸出を行っている。

原資への寄付を8社から計61万円をいただいたが、感謝状については手続きが遅れたため発行できていない。今年度分については、平成24年度総会で贈呈することを幹事会に提案する。

平成24年1月17日に監理委員会を開催した。指摘事項を確認するため、平成23年度決算後、改めて監理委員会を開催することが決定した。

(7) エコドライブワーキングの開催

ワーキングを1回開催した。

高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用して、「一般家庭へのエコドライブ普及啓発事業」を実施、また、四万十自動車学校、高知自動車学校の2校でエコドライブ認定を受け、県内で学校主催によるエコドライブ教習会を毎年実施できる体制が構築できた。

(8) 電気自動車ワーキングについて

ワーキングを計5回開催した。

高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用して「充電インフラに関する県民ニーズ調査」を行った。アンケートでニーズの大きかった高速SA、道の駅等のうち、高速SA(立川・馬立)について設置スキームの検討を行った。

(9) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金について

県民部会の提案事業として、5件の事業を行った。

(9) 環境家計簿について

「子ども向け」

小学校9校(参加児童282人)に出前事業を行った。

「一般向け」

家庭のものさし調査への参加を広く呼び掛け、191世帯から光熱水費データの提出をいただき、現在集計中。その他に8世帯から過去3年間のデータの提供をいただき、分析を行っている。

3 事業者部会について

(1) 部会・ワーキングの開催状況について

平成23年度事業者部会年間スケジュール表のとおり

(2) 部会の開催状況について

3月12日に第2回県民部会を開催した

(3) ワーキングの開催状況について

事業者部会ワーキングとして、高知商工会議所環境委員会で決定した方針に従い、高知商工会議所内の各部会が活動を行った。

(4) おらんくのストップ温暖化宣言事業者推進事業

環境フォーラムを平成24年2月に開催し、県内事業者の取組事例発表と他県の成功・失敗事例講演を行い、計100名の参加があった。

29 社がおらんくのストップ温暖化宣言を行った。

(5) エコアクション 2 1 推進事業

高知商工会議所がエコアクション 2 1 地域事務局認定を取得した。

エコアクション 2 1 システム導入セミナーを開催し、38 団体、54 名が参加した。

エコアクション 2 1 審査人養成支援として 2 名の受験等の支援を行った結果、審査人 1 名を養成した。※資格要件としてオブザーバー要件（他の審査人による審査にオブザーバーとして参加すること）が付与されているため、実際に審査人として活動を開始していただくのは平成 24 年秋頃となる見込みである。

エコアクション 2 1 認証登録事業者は現在 102 社。28 社が登録申請を行っており、今後 1 年以内に 50 社程度増える見込みである。

建築業以外の業種への拡大が課題となっている。

(6) 省エネルギーアドバイザー派遣事業

8 月に商工会議所会報にチラシを入れた他、高知県中小企業団体中央会の機関紙にも掲載し PR を行い、4 社に計 6 回、省エネルギーアドバイザーを派遣した。

(7) エコ通勤ウィーク

11 月 14 日（月）から 11 月 20（日）迄、開催し、19 社から参加申込があった。

うち、16 社から実績報告の提出があり、期間中、延べ 1,107 名が参加し、3.3t-CO<sub>2</sub> の削減を実現した。

(8) 省エネ機器導入促進事業

補助金等の情報をホームページで提供した。

#### 4 行政部会

(1) 部会・ワーキングの開催状況について

平成 23 年度行政部会年間スケジュール表のとおり

(2) 部会の開催状況について

部会を計 3 回開催した。

(3) ワーキングの開催について

地方公共団体実行計画ワーキングを立ち上げ、8 月に開催した。

(4) 地方公共団体実行計画の策定推進

区域施策編については環境省主催のワークショップに高知県新エネルギー推進課が代表として参加し、その内容を各市町村説明するため、8 月にワーキングを開催した。

事務事業編については、環境省主催のワークショップが県内で開催され、3 町村が参加している。

(5) グリーン購入の推進

7 月と 2 月の計 2 回、県内全市町村を対象に、グリーン購入実施計画の策定

状況調査を行った。新たに計画を策定予定の市町村が1市増加し、計8市町村となった。

(6) 地球温暖化防止活動推進員の活用及び増員

県内4箇所で開催し、新たに9名に委嘱した。

(7) エコ通勤

県民会議の統一的な取組として、「エコ通勤ウィーク」を実施した。

(8) レジ袋削減

県民会議の統一的な事業として「男も(女も)持つぞ!マイバッグ」キャンペーンを実施した。

○幹事よりの意見等

質問 県民部会「コツコツ削減プロジェクト」のCO<sub>2</sub>削減量を販売すると説明があったが、具体的にはどういう事かクレジット等を発行するのか。

回答 実際にはクレジット等を発行できるような状況ではないので、販売ではなく、寄付をいただくことになる。

質問 県民部会電気自動車のワーキングだが、急速充電器の設置には電気料金が課題になっていると聞いている。利用料金等についての検討結果はどうか。

回答 高知県内の電気自動車が約100台、一日0.3台程度の利用で、ワンコイン500円ぐらいしか取れない。

質問 急速充電器を道の駅に設置すれば物が売れる等の効果があると思うが。

回答 充電に30分ぐらいかかるのでその間に買い物等の消費が期待できると考えている。

意見 県民部会に限らずCO<sub>2</sub>削減量等は図表化した方が県民の方の理解がいただけれると思う。

回答 数値が出るものはグラフ化する。

質問 事業者部会で取り組んでいるエコアクション2.1は件数も増えているが、県内の審査人の人数は何名か。

回答 2名だったが、今年度1名を養成したので3名になるが、毎年受審した事業者を訪問する必要があるので足りない。受審事業者数が同じ徳島の例をあげると11名なので、県内の審査人にはかなりの無理をお願いしている。(数カ月先まで予定が入っているような状況)

意見 【審査人の立場より】後2~3人は増えてもらわないと厳しい。建設業以外の製造業、産廃処理業等がエコアクション2.1をとるような仕組み(インセンティブを与える)をお願いしたい。

回答 今すぐは厳しいが、県・市等に物品購入等で有利になるような状況をつくっていただけるように、事業者部会からお願いしていきたい。

意見 エコアクション2 1 取得企業から物品を買うのはグリーン購入になるのだから、行政にも支援をお願いしたい。取得の目的が入札参加のためであっても、取り組んでいただいているうちに理解が深まる。また、環境レポートは公表するので、取組事業者が増えると県内のCO2排出量が何もしなくても把握できるのではと考える。

## 5 協議事項

### (1) 総会第1部について

資料5、平成24年度高知県地球温暖化防止県民会議総会（次第案）、資料6、第1号議案 資料7、平成23年度事業報告（案）、第2号議案 平成24年度事業計画（案）の説明を行い全会一致で承認された。※総会配布資料

### (2) 総会第2部について

高知県地球温暖化防止県民会議総会第2部の講演内容について資料8、事務局案提示し、出席幹事に意見を求めた。

幹事より講演内容は「再生可能エネルギーの導入」関係とすること、講師については事務局に一任することが提案され全会一致で承認された。

### (3) 県民会議の表彰について

#### ・ 部会長表彰（報告）

資料9に基づき、県民部会事務局より部会長表彰対象者6名、事業者部会事務局より部会長表彰対象者1名の報告があった。

※事業者部会長表彰対象の1名については、出席幹事より会長表彰が適切ではないかとの意見が出され、全会一致で承認された。

#### ・ 会長表彰（推薦）

行政部会より2名、県民部会より2名の推薦があり、全会一致で承認された。（会長表彰は計5名）

### (4) 高知県地球温暖化対策実行計画の取り組みについて

高知県地球温暖化対策実行計画の施策ごとの本年度の取組の主な課題や実績について、資料10を基に説明を行った。平成24年度以降についても12月、3月いずれかの幹事会において取組報告を行うこととする。

高知県の温室効果ガス排出量算定結果（暫定値）の説明を行った。

※これらのデータについては準備ができ次第、公表する。

## 6 その他

平成24年度の幹事会は8月、10月、12月、3月の計4回の開催を予定し、日時については改めて事務局が文書で調整することを確認して閉会した。